

令和3年8月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和3年8月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

8月24日に開幕する東京パラリンピックに、ゴールボール女子日本代表として八戸市出身の天摩由貴選手が出場します。

ゴールボールは、目隠しを着けた1チームあたり3人の選手が、鈴が入ったボールを転がすように投げ合って得点を競う競技です。

天摩選手は、ロンドンパラリンピックに陸上短距離走の選手として出場しました。その後、リオデジャネイロ大会からはゴールボールに転向し、パラリンピック出場は3度目となります。

みなさま、ぜひ地元出身選手を応援しましょう。

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 8月号 レポート

令和3年7月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	八戸版ICT教育高評価 早期端末導入が先進事例に
(2)	八戸 新型コロナワクチンの接種スケジュールを一部見直しへ
(3)	是川縄文館開館10年 世界遺産登録を追い風に
(4)	介護予防センター8月で開所1年 記念講演会開催
(5)	八戸市水産物ブランド戦略会議 サバ商品開発3件補助

【産業】

記事	概要
(6)	青森県産業技術センター食品総合研究所 水産業の省力化を推進
(7)	マイワシ初水揚げ 小ぶりも値段まずまず
(8)	障害者の能力引き出す 就労支援事業所ライブワークス（八戸）
(9)	「一球入魂かぼちゃ」八戸で初競り 最高値更新
(10)	八戸の関係者 青果の販路確保に奔走

【地域】

記事	概要
(11)	八戸工高電子科3年 国家資格32人全員合格
(12)	脳卒中のリハビリに取り組む当事者らの団体 八戸で設立
(13)	8月22日開催の八戸花火大会 観覧チケット発売
(14)	おいらせ消防署 ママさん消防士 舘石成美さん（八戸出身）活躍中
(15)	造園業向けパースコンテスト ワンさん（みちのく庭園・米国出身） 奨励賞と新人賞受賞

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	総合格闘技プロ選手 工藤さん（八戸出身） 初世界戦へ
(17)	YSアリーナ八戸 結氷作業本格化
(18)	「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録決定 国内25件目
(19)	東京五輪 ラグビー本村最終戦 すがすがしく夢舞台後に

【行政】

記事	概要
(1)	<p>八戸版ICT教育高評価 早期端末導入が先進事例に</p> <p>児童、生徒に1人1台のタブレット端末を配布するなど、情報通信技術（ICT）を活用した教育の推進を図る「GIGAスクール構想」で、八戸市教委の取り組みが注目されている。市教委は、スムーズな導入に向けて早い段階から教員向け研修会を開催したほか、手引書や保護者へのお知らせも市教委側で制作するなど教員の負担軽減に努め、全国的にも早い昨年11月に市内小中学校への端末の整備を完了。その内容が先進事例として6月末、文部科学省の審議会の部会で取り上げられ、高く評価された。今後は、家庭学習に端末を使用する際、効果的な使い方や保護者の理解を得ることが重要とされている。</p>
(2)	<p>八戸 新型コロナワクチンの接種スケジュールを一部見直しへ</p> <p>新型コロナウイルスのワクチンの供給量が全国的に低迷していることを受け、八戸市は7月7日、64歳以下の接種スケジュールを一部見直す方針を明らかにした。基礎疾患がある人の受け付け開始日や、それ以外の12～64歳の市民への接種券発送日に変更はないが、接種完了時期は当初見込みの10月中から後ろ倒しとなる可能性がある。7月中旬以降の配分量が市が希望する供給量と程遠い上、今後のワクチン供給に見通しが立たないことから、当初の計画通りに進めることが難しくなった。なお、高齢者接種分は既に確保済みで、市独自の職域接種については、6グループ（1万4千人分）の代行申請をしているが、具体的な接種時期は未定となっている。</p>
(3)	<p>是川縄文館開館10年 世界遺産登録を追い風に</p> <p>2011年に開館した八戸市の埋蔵文化財センター是川縄文館が、7月10日で開館10周年を迎えた。常設展示品の約8割が国重要文化財で、2009年に国宝指定された合掌土偶をはじめ、鮮やかな色合いを残す漆塗り土器など、ほかでは見ることのできない出土品をそろえる。また、遺跡の保存だけではなく、体験学習や講座など教育普及の役割も担ってきており、累計来館者数は2020年度末で27万人を突破した。一方で近年は、来館者数をいかに増やすかが課題となっており、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を次の10年へ向けた追い風に変えたい考えである。同館では、9月5日まで開館10周年を記念して特別展を開催している。</p>
(4)	<p>介護予防センター8月で開所1年 記念講演会開催</p> <p>八戸市が設置する介護予防センターが8月で開所1年を迎えるのに当たり、同センターは7月19日、同市の「はっち」で記念講演会を開催した。同センターは、高齢者が健康なうちから介護予防や認知症予防に取り組むための支援事業を展開する目的で、昨年8月11日に市総合保健センター内に開所したもの。講演会では、認知症介護研究・研修仙台センター研修部長の矢吹知之さんが、「認知症の人と家族を地域で支援するために～認知症カフェが生み出す効果～」と題してリモートで講演。参加した市民らが認知症の当事者や家族、地域住民が交流する「認知症カフェ」の取り組みへの理解を深めた。</p>
(5)	<p>八戸市水産物ブランド戦略会議 サバ商品開発3件補助</p> <p>八戸市は7月29日、4回目の「市水産物ブランド戦略会議」を開き、地元の3業者から申請のあったサバの新たな加工試作品について、いずれも補助事業に選定した。八戸日本料理業芽生会は缶詰、ヤマヨは締めさば、マルヌシは酒のつまみが前提の常温販売の商品を計画。計画事業費は非公表で補助は半額程度の見込み。いずれも市第3魚市場荷さばき施設A棟で水揚げされたサバを使う可能性がある。本年度内に開催予定の次回会合でブランド認定の審査を行う。</p>

【産業】

記事	概要
(6)	<p>青森県産業技術センター食品総合研究所 水産業の省力化を推進</p> <p>八戸市にある青森県産業技術センター食品総合研究所（食総研）は、地元の水産加工業者や漁業者を中心に支援する試験研究機関で、2020年度には、定置網漁で水揚げした多種多様な魚を自動的に仕分ける「画像センシング技術」を開発した。この技術を用いた装置は、画像センサーを利用しベルトコンベヤーに流れる魚の種類を選別してタンクに振り分け、画像データを基に魚体サイズも計測するもの。水産の人手不足が続く中、熟練の職人技から先端技術に移行することで、持続可能な水産業を目指す取り組みだが、今後は魚市場や漁協などへの普及が鍵を握っている。食総研は、装置や自動選別技術の認知度向上を図りつつ、全国の産地にも発信する方針である。</p>
(7)	<p>マイワシ初水揚げ 小ぶりも値段ますます</p> <p>大中型巻き網船団が岩手県釜石沖で漁獲したマイワシの初水揚げが7月6日、八戸港で行われた。八戸市第1魚市場には運搬船「第37大瀨丸」（305トン、茨城県北茨城市）が約222トンの水揚げし、入札の結果、10キロ当たり309～285円で取引された。サイズは小ぶりが主体で、大半は冷凍・加工用に回るとみられる。関係者は「脂の乗りはいまひとつながら値段はますます」と手応えを強調し、今後の水揚げ増に期待を寄せた。</p>
(8)	<p>障害者の能力引き出す 就労支援事業所ライブワークス（八戸）</p> <p>八戸市の就労継続支援A型事業所「ライブワークス」（中里昭光代表）では、自動車や電子情報機器の解体作業を行う現場で、障害のある人を積極的に起用している。自動車などのリサイクル事業を手掛ける「エコブリッジ」の代表でもある中里代表が、青森県立八戸第二養護学校の生徒をインターシップで受け入れたのがきっかけ。すさまじい集中力で一生懸命に取り組む姿を目の当たりにし、障害者の労働力に可能性を見いだしたことから、エコブリッジのグループ企業としてライブワークスを設立した。今では、障害者と共に働くことに対する理解の輪が、社内だけにとどまらず取引先にも拡大し、さまざまな仕事を委託してくれるようになった。同所では、単に技術を身に付けるだけでなく、作業中の事故を未然に防ぐための安全衛生に関する知識や技術を習得することにも力を入れている。</p>
(9)	<p>「一球入魂かぼちゃ」八戸で初競り 最高値更新</p> <p>八戸市中央卸売市場で7月27日、むつ市などがブランド化を進める「一球入魂かぼちゃ」の初競りが行われた。3.02キロの1個に5万円の値が付き、これまで最高だった昨年の1万円を大きく上回った。通常のカボチャが1株から5個以上収穫するのに対し、一球入魂かぼちゃは1株に1個だけ実を残すことでうま味を凝縮し、糖度を13～15度にまで高める。初競りにはハウス栽培物15個が並び、最高値のかぼちゃは、八戸市の「南部青果」が落札。ほかは1個4千～1万5千円で取引された。</p>
(10)	<p>八戸の関係者 青果の販路確保に奔走</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、青果物を扱う全国各地の卸売市場が販売先探しに追われる事態となっている。外食向け需要が落ち込んでいる上、東京五輪の無観客開催により首都圏のホテルを中心に予約のキャンセルが相次いだのが主な要因。また、例年であれば同じ野菜でも産地によって入荷時期がばらけるが、今年は春先から続く高温で生育が早まり、供給過剰気味となっている野菜もあり、荷動きをさらに鈍らせている。東北トップクラスの取扱量を誇る八戸市中央卸売市場でも関係者が新たな取引先の確保に奔走しており、価格下落に危機感を募らせている。</p>

【地域】

記事	概要
(11)	<p>八戸工高電子科3年 国家資格32人全員合格</p> <p>八戸工業高電子科3年の生徒32人が、光ケーブルなどの接続工事や工事の監督ができる国家資格「工事担任者第2級デジタル通信」にクラス全員で合格した。試験は日本データ通信協会が主催し、年2回実施。生徒たちは1年時の8月から学習を始め、1、2年時の11月と今年5月の計3回の試験を経て、全員合格を達成した。この資格をクラス全員が取得したのは8年ぶり。さらに、2級より工事できる範囲が広い「工事担任者第1級デジタル通信」に3人、最上位資格の「工事担任者総合通信」に6人が合格。総合通信に一つの学校から、複数人の取得者が出るのは全国でも珍しい。</p>
(12)	<p>脳卒中のリハビリに取り組む当事者らの団体 八戸で設立</p> <p>脳卒中のリハビリに取り組む患者や家族、作業療法士らでつくる団体「One Feels」が本年度、八戸市で設立された。立ち上げたのは、同市に自費リハビリスタジオ「私のリハビリ」を開く作業療法士の柴崎元さんと、脳卒中のリハビリに励む同市の佐々木三之さん。「当事者や専門職とのつながりをつくり、支え合う場が必要だ」と意気投合した2人が、4月に小規模な交流会を開催したところ、大きな反響があったことから、6月に同団体を立ち上げた。脳卒中に特化した患者らの「交流の場」は、これまで青森県内にほとんどなく、目指すのは「当事者が主役」の活動。同じような境遇で悩む人に寄り添い、「二人三脚」で支援を広げていく。</p>
(13)	<p>8月22日開催の八戸花火大会 観覧チケット発売</p> <p>第41回八戸花火大会に向け、有料観覧チケットの販売が7月20日から始まった。販売されるのは4人まで観覧できる升席で1枚1万円。今年は全国から大会運営費と募ろうと、初めてクラウドファンディングによる資金調達も行っている。大会は同市の館鼻岸壁で8月22日（荒天時は同29日に延期）午後7時にスタートし、約6千発を打ち上げる。新型コロナウイルス対策として観客の上限は5千人とし、昨年と同様に無料観覧エリアは設けないこととしている。</p>
(14)	<p>おいらせ消防署 ママさん消防士 舘石成美さん（八戸出身）活躍中</p> <p>八戸消防本部管内では近年、女性が徐々に活躍の場を広げている。おいらせ消防署の消防士長舘石成美さん（八戸市出身）は、管内唯一の女性消防車両機関員で、2歳の長男を育てながら働いている。舘石さんは地元の高校を卒業後に採用され、同本部総務課に配属されたが、その後志願して八戸消防署の消防車両機関員になった。妊娠中は現場出勤がない日勤の部署に異動し、育休後においらせ消防署の消防車両機関員として復帰。新たな道を切り開くママさん消防士は、家族のサポートも受けながら仕事と子育てに奮闘している。同本部によると、管内の隊員415人のうち、女性は約2.2%の9人。そのうち4人が子育てしながら仕事をしている。</p>
(15)	<p>造園業向けパースコンテスト ワンさん（みちのく庭園・米国出身） 奨励賞と新人賞受賞</p> <p>造園業向けコンピューター利用設計システム（CAD）の開発などを手掛ける「ユニマットリック」（東京）主催の「リックパースコンテスト2021」で、みちのく庭園（八戸市）のアンジェリカ・ワンさん（米国オレゴン州出身）が奨励賞と新人賞を受賞した。同コンテストはCADを使いエクステリアや造園のパース（完成予想図）作成の力量を競うもので、今回は全国から380点の応募があった。ワンさんは2018年に来日し、八戸市の国際交流員として勤務後、2020年9月に同社に入社。受賞作は、八戸まちなか広場「マチニワ」横の空間に、日本庭園をモチーフにした親水空間をデザインした。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	<p>総合格闘技プロ選手 工藤さん（八戸出身） 初世界戦へ</p> <p>総合格闘技「修斗」でフェザー級のプロ選手として活躍する工藤諒司さん（八戸市出身）が7月25日、東京・後楽園ホールで初の世界タイトル戦に挑む。工藤さんは5歳の時に極真空手と出会い、小学3年からはレスリングを始めた。光星学院高（現八戸学院光星高）時代にはインターハイで個人3位に入り、特待生で進んだ国土館大でもマットに立ち続けた。大学卒業後すぐに修斗に転向したが、6年間のキャリアではけがに泣かされ、2度の手術も経験した。そうした逆境にも闘志を燃やし続けてきた原動力は「ベルトを八戸に持ち帰る。両親や応援してくれる全ての人に恩返しをしたい」との思いだ。ようやく巡ってきた千載一遇の舞台では、格闘技人生の全てをぶつける覚悟でいる。</p>
(17)	<p>YSアリーナ八戸 結氷作業本格化</p> <p>八戸市立屋内スケート場「YSアリーナ八戸」で、結氷作業が本格化している。7月19日は、15度に保たれた館内で、担当者が45度の湯をホースでまき、ごみが混じっていないかも確認しながら、作業を進めた。作業は7月25日に予定されるスピードスケート競技者向けのオープンに向け、6月末から開始。リンク下部のコンクリートを徐々に冷却し、7月8日からは毎日5回湯をまき、1日に数ミリずつ氷を張る作業を進めている。7月25日以降は、大学や実業団に加え、地元の中学生の合宿の予定が入っており、一般向けのオープンは10月上旬の予定。</p>
(18)	<p>「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録決定 国内25件目</p> <p>国連教育科学文化機関（ユネスコ）世界遺産委員会は7月27日、青森県など4道県の17遺跡で構成する「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を決定した。同遺跡群は、住居や祭祀の場で構成する三内丸山遺跡（青森市）のような集落跡、大湯環状列石（秋田県鹿角市）に代表されるストーンサークル、共同の墓地や祭祀場である是川石器時代遺跡（八戸市）などで構成。国内の世界文化遺産として最も古く、人類史上まれな農耕を伴わない定住社会や精神文化を伝える貴重な遺産として世界に価値が認められた。国内の世界遺産では、自然遺産と合わせると25件目となり、2007年に登録を目指してから長年の悲願が結実した。</p>
(19)	<p>東京五輪 ラグビー本村最終戦 すがすがしく夢舞台後に</p> <p>ラグビー7人制男子代表として、初めて五輪の舞台に立った本村直樹（八戸高出、ホンダヒート）の激闘の3日間が、7月28日の韓国戦で幕を閉じた。新型コロナウイルスの影響により無観客開催となった異例の大会だったが、テレビなどを通して、たくさんの人が見守ってくれていると信じて戦い抜いた。チームではバイスキャプテン（副将）として「やるべきことを明確に言語化する」ことに努め、苦しい時ほど声を出し、仲間を鼓舞した。「応援してくれた皆さんに感謝を伝えたい」と、最後はすがすがしい表情で夢舞台を後にした。</p>

はちのへ

ふるさと寄附金のご案内

『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力をもつめるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



ふるさと寄附金の3つの魅力

① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 松橋 大輔 [主幹] 川村 幸男 [事務員] 浜井 章代

申込み方法

郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



送付先

八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。